

Euglena Group

株式会社ユーグレナ IRセミナー

2022.06.02 ログミー様主催

【留意点】

当社は、2021年8月26日開催の臨時株主総会における承認決議により、決算期（事業年度の末日）を9月末から12月末に変更致しました。

その結果、2021年12月期（第17期）は経過期間として2020年10月から2021年12月までの15ヶ月間の決算期となります。

ユーグレナ社の歩み

株式会社ユーグレナの紹介

ユ-グレナ

いきる、たのしむ、サステナブル。

フィロソフィー（経営哲学）


Sustainability First

サステナビリティ・ファースト

パーパス（存在意義）

人と地球を健康にする

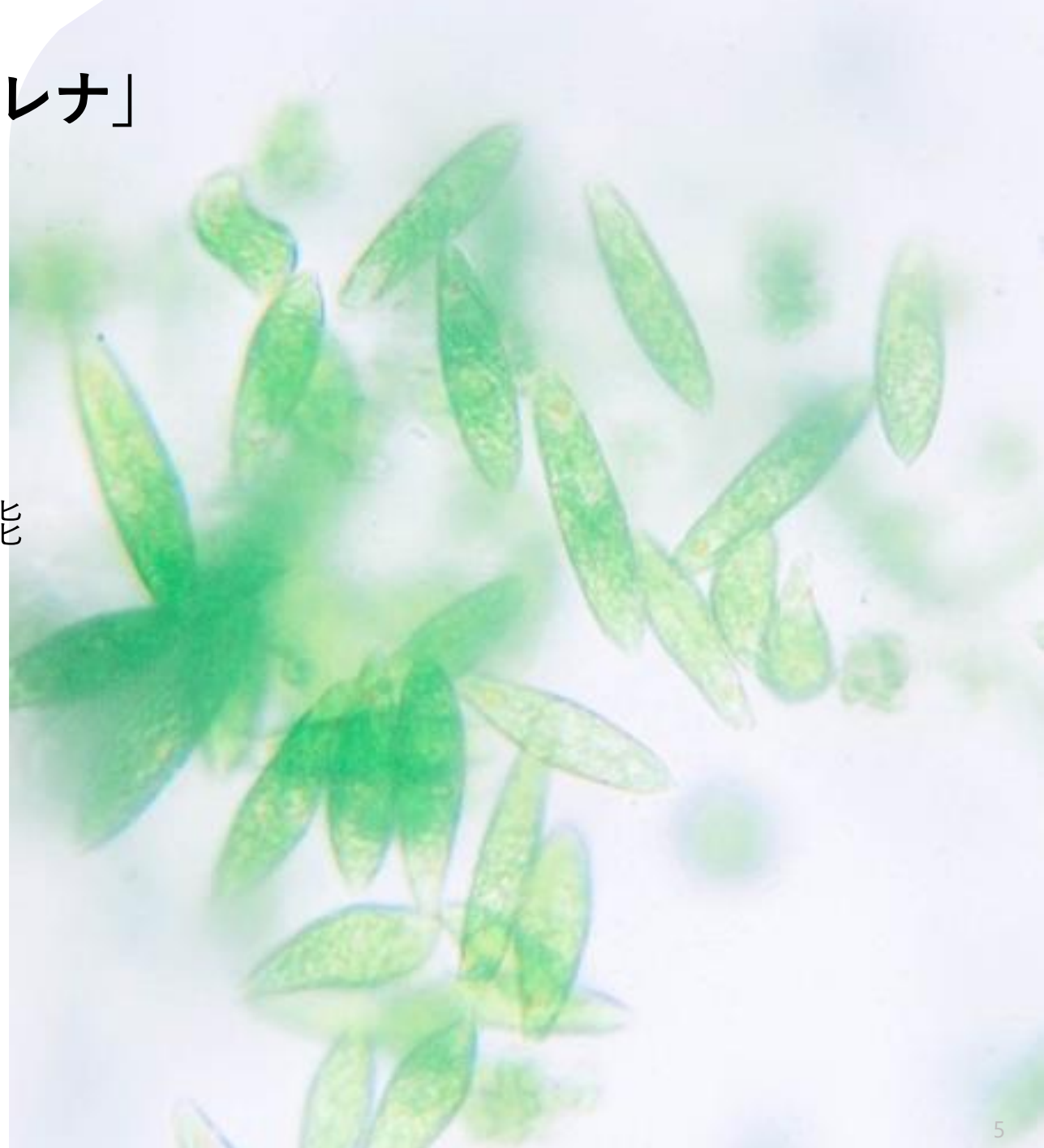
- 東京大学発ベンチャー企業。
- 2005年12月に世界で初めて微細藻類ユーグレナの屋外大量培養に成功
- 東証プライム市場上場
- 株主数12万人突破

A group of people, including a woman in a white bucket hat and a man in a grey shirt, standing outdoors with children in a lush green setting. The image is overlaid with a semi-transparent dark green and purple gradient. The text is centered in white.

“バングラデシュで目のあたりにした栄養失調の問題を
栄養豊富な食材で、解決したい。”

たどり着いた当社独自素材「ユーグレナ」

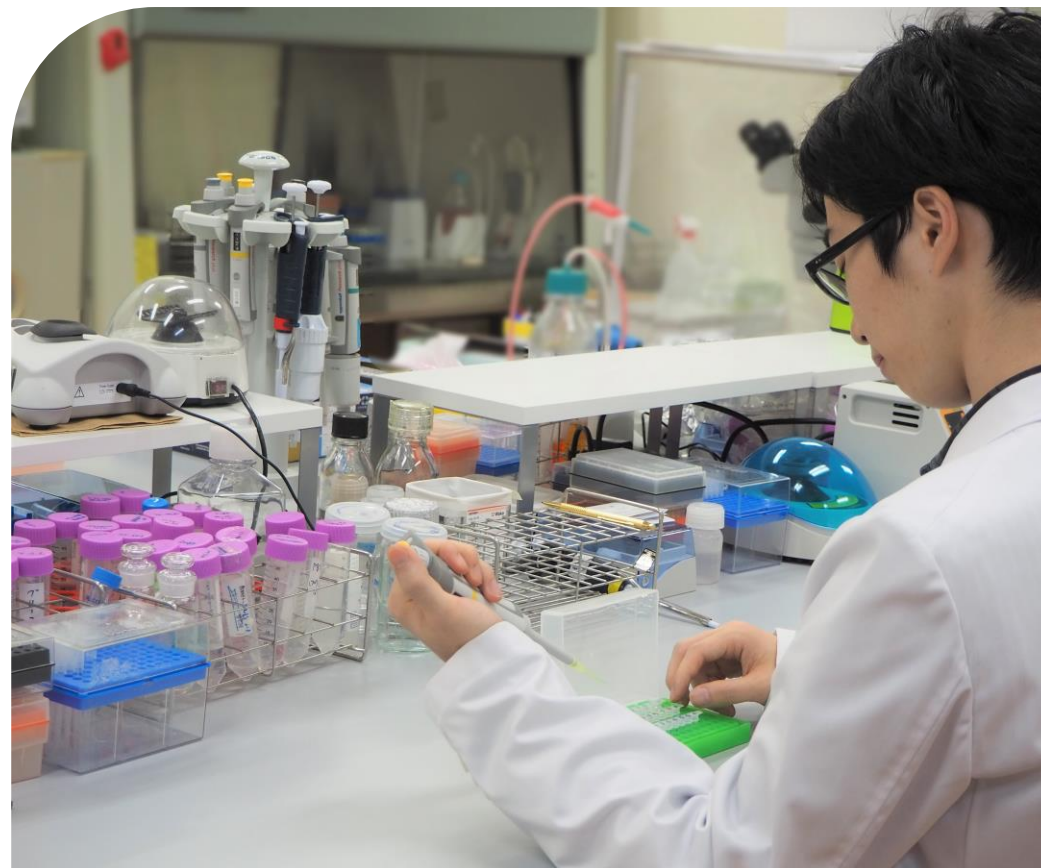
- 豊富な栄養素と独自成分パラミロン
- ミドリムシからバイオ燃料が生産可能



世界初、ユーグレナの屋外大量培養技術の確立



ユーグレナ生産拠点 (2005年の写真)
@沖縄県石垣島



中央研究所
@横浜市鶴見区

ユーグレナ社の歩み

2005

世界初ユーグレナ
屋外大量培養成功



2012

東証マザーズ上場



2014

GENKIプログラム
開始



2015

第1回日本ベンチャー
大賞受賞



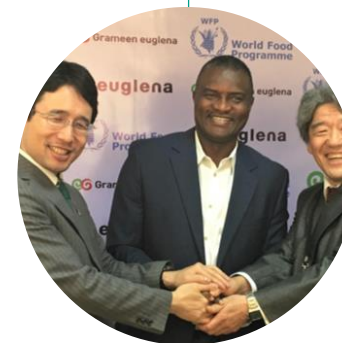
2018

日本初バイオ燃料
実証プラント完成



2019

国内民間企業初
WFPと事業連携



ユーグレナグループが展開する3つの事業領域

バイオ燃料
領域



ヘルスケア
領域



新規
サステナ
ビリティ
領域

アグリテック



バイオインフォマティクス



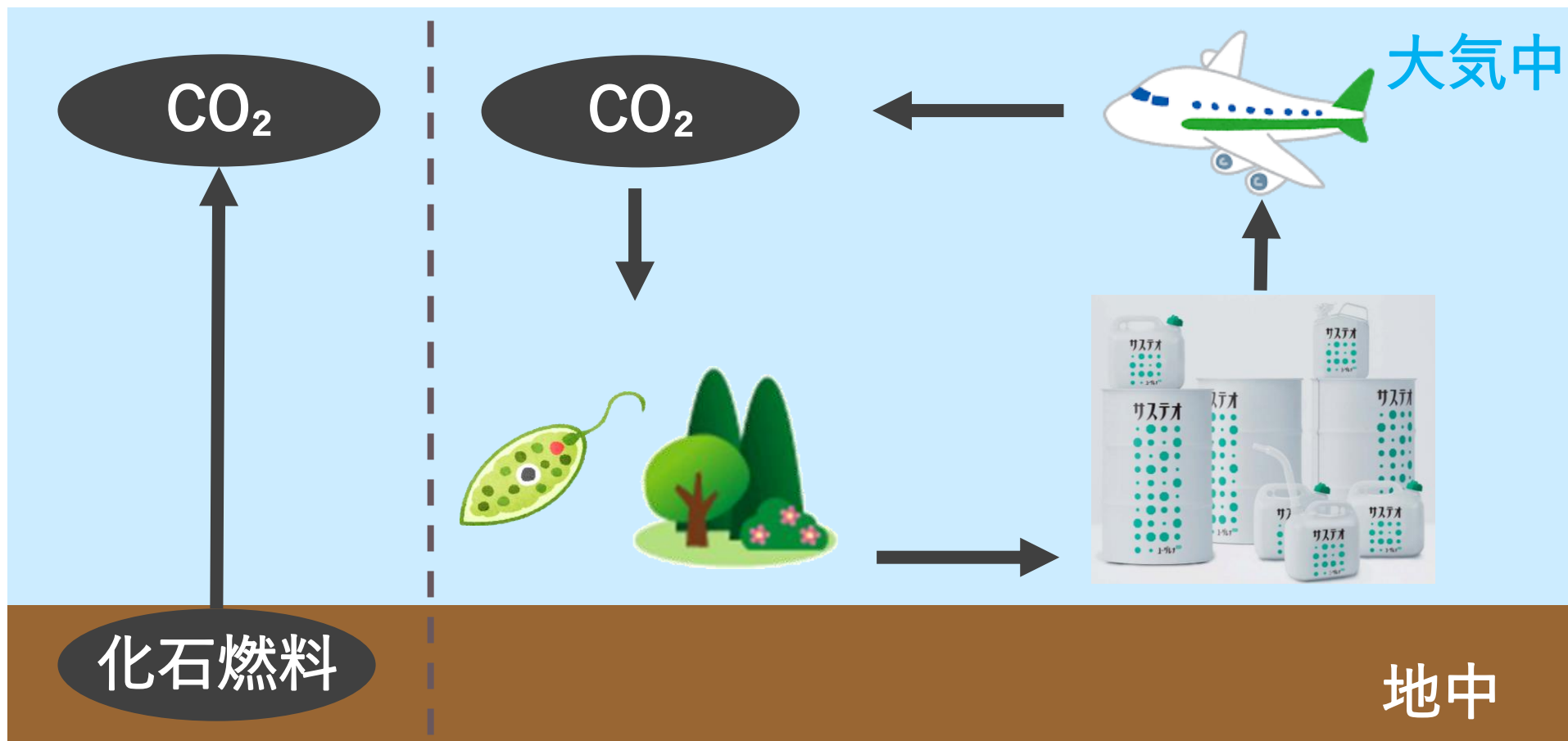
ソーシャルビジネス



バイオ燃料領域

カーボンニュートラルの実現

- バイオマス原料は成長過程で光合成によって大気中のCO₂を吸収
- 燃料燃焼時のCO₂排出量はプラスマイナスゼロ

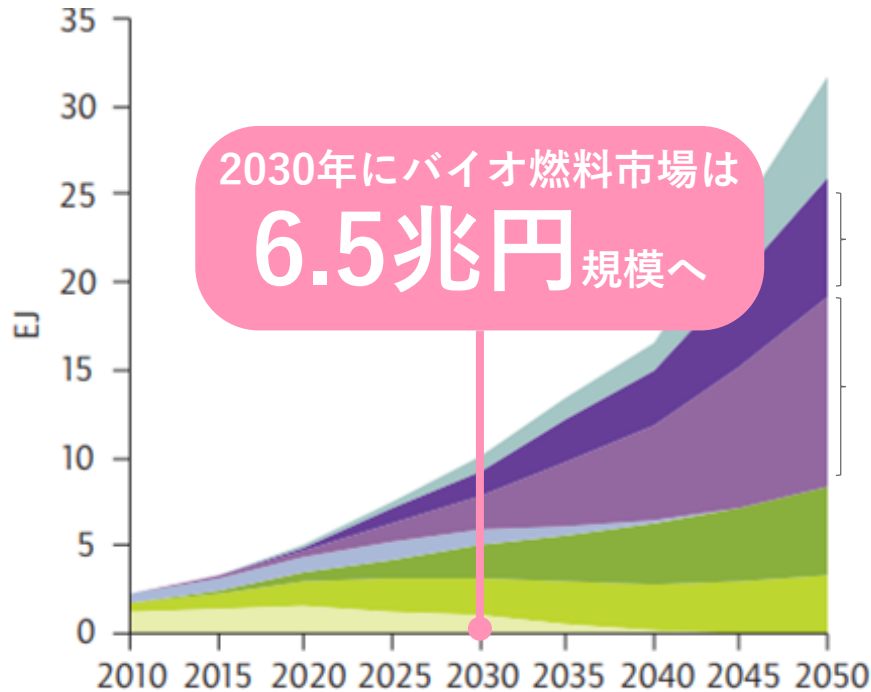


業界動向 - 国内外におけるバイオ燃料需要の顕在化

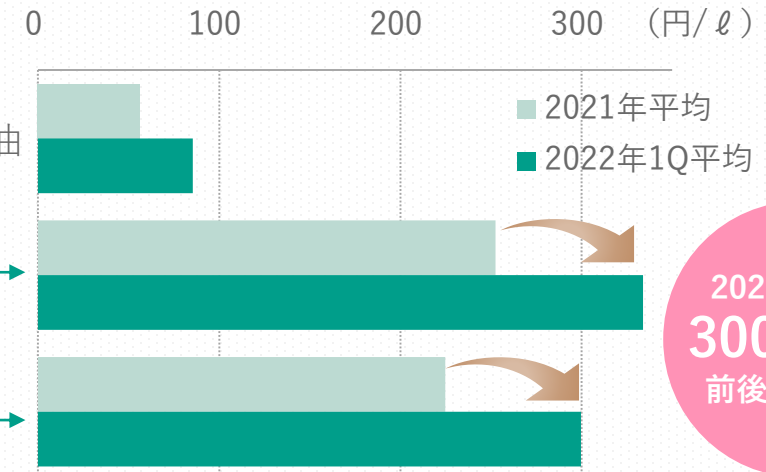
海外ではバイオ燃料価格が高騰、国内でもSAF導入の動きが顕在化

→バイオ燃料に対する需要は国内外で拡大、国内でのサプライチェーン整備は当社にも追い風

世界のバイオ燃料消費量の見込み (IEA)



海外市場価格 *1



国内における動向

- 政府がSAFの輸入・供給体制づくりに着手、今秋にも中部国際空港に受入拠点を設定との報道
- 国内大手石油会社2社がバイオ燃料商業化に向けたプロジェクトを発表
- SAF導入促進に向けた官民協議会が発足

バイオ燃料の製造・供給の体制

①原料調達

②製造

③販売

微細藻類ユーグレナ

+

産業廃棄油等



バイオマス
油脂

1-グレナ[∞]



2018年
実証プラント
完成

SAF

バイオジェット燃料



サステオ



HVO

次世代バイオ
ディーゼル燃料



- 原料となる産業廃棄油等を調達
- NEDO助成金で燃料用途ユーグレナの大規模培養研究も継続

- 国内外のパートナーと連携し、商業プラントを2025年に建設・稼働予定

- ユーグレナ社のバイオ燃料「サステオ」を国内外で販売



JA01JP

HONDA

HondaJet ELITE 1-700

サステオ

実証 - 「空」における供給先

当社バイオジェット燃料初フライト実現



2021年6月4日

国土交通省飛行検査機
で初フライトに成功



2021年6月29日

民間機航空機で初フライトを実施

実証 - 「陸」 「海」 における供給先

当社バイオディーゼル燃料の供給先も拡大

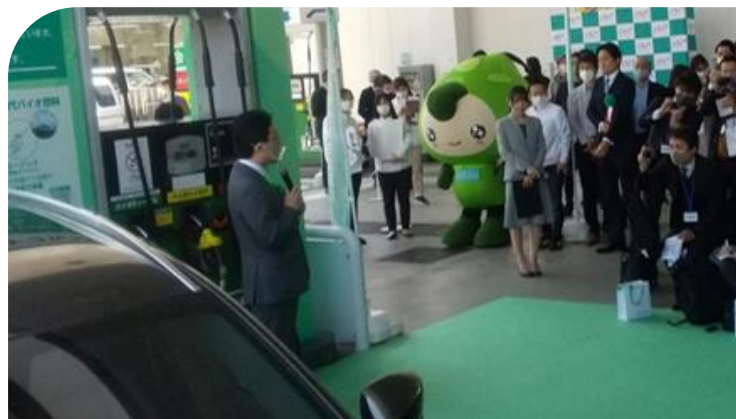
→2021年末までに累計40社以上へ導入

海 船舶第2弾、名古屋港初



商船三井グループ運航船にて
トライアル航行を実施
2020年12月

陸 ガソリンスタンド初



都内ガソリンスタンドで
一般消費者向けに販売
2021年4月

陸 サステオ100%初使用



岡山スーパー耐久レースで
マツダ参戦車両に導入
2021年11月

実証 - 2022年における供給先

2022年も当社バイオ燃料の供給先は更に多様化

→ジェット旅客機で初フライト、鉄道や大型フェリーでも初使用

陸 鉄道車両初



JR東海と鉄道車両による
実用性検証試験を開始
2022年1月

海 大型フェリー初



商船三井の大型フェリーで
実証試験航海を実施
2022年3月

空 定期旅客運送エアライン初

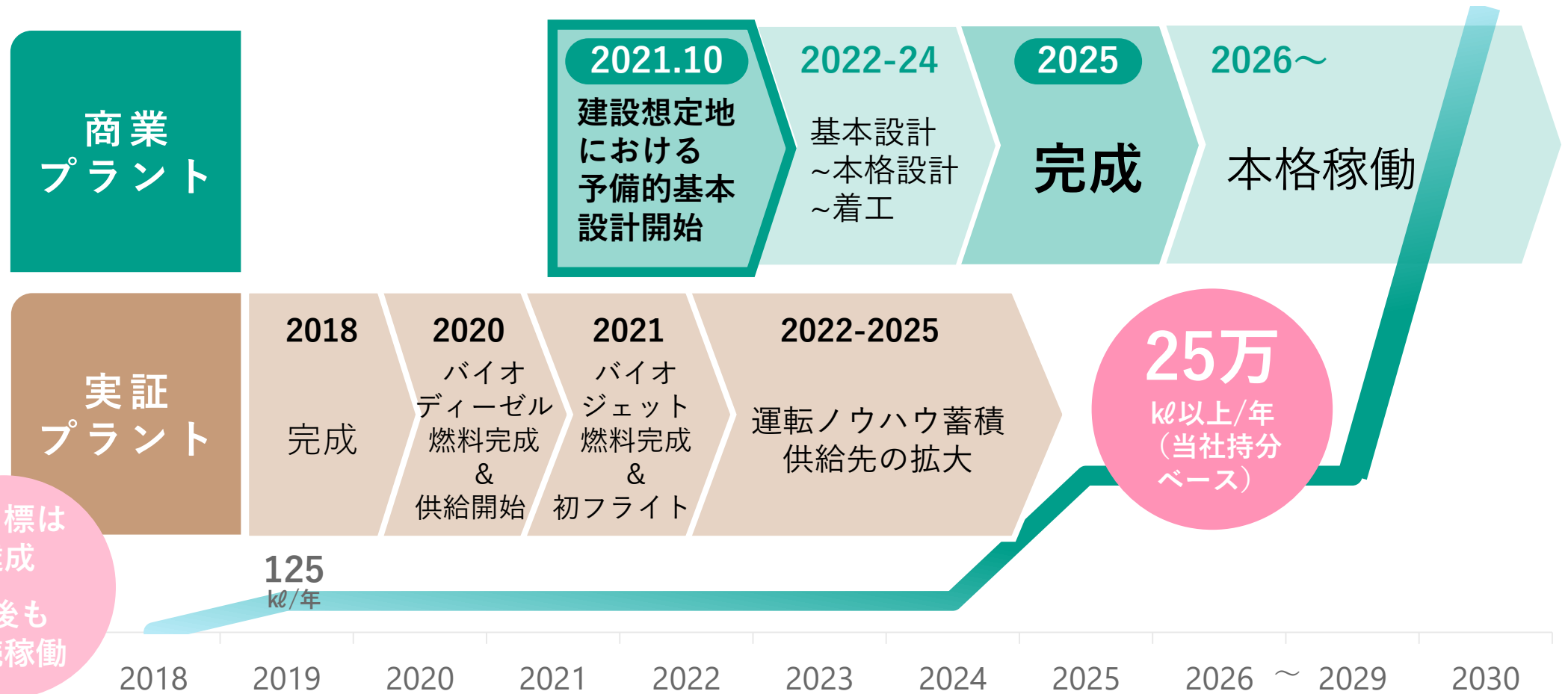


フジドリームエアラインの
ジェット旅客機で初フライト
2022年3月

商業化 -進捗と計画

商業化実現に向けて、2025年に商業プラントを建設するプロジェクトを推進

→2021年10月より建設想定地における予備的基本設計を開始し、順調に進捗中



商業化 - 収益ポテンシャル*1

売上高

500億円
相当

調整後 EBITDA

100億円
規模

バイオ燃料価格

200円/ℓ

×

年産25万kℓ相当

EBITDAマージン

20%以上

*1: 2021年のバイオ燃料取引価格平均や初期的な商業性シミュレーション結果を踏まえ、バイオ燃料価格200円/ℓ、当社持分ベースの生産量25万kℓ/年、EBITDAマージン20%の前提で試算



ヘルスケア領域

ビジネスモデル - 3つのチャネル展開

直販(BtoC)



食品&化粧品



当社ECサイト「euglena online」・
グループ会社ECサイト・通販

流通(BtoB)



食品&化粧品



全国の取扱店網
(美容院・専門店等)
ドラッグストア・
量販店・バラエティ
ショップ等

OEM提供・原料供給



粉末原料



サプリメント&化粧品



OEM
企業群

大手流通・
食品メーカー

コラボ商品

消費者

2021年度のトピック - キューサイが当社連結グループに仲間入り

ヘルスケア領域

Q'SAI

- 56年の歴史
- 健康食品/化粧品の通信販売大手の1社
- 47万人の定期顧客



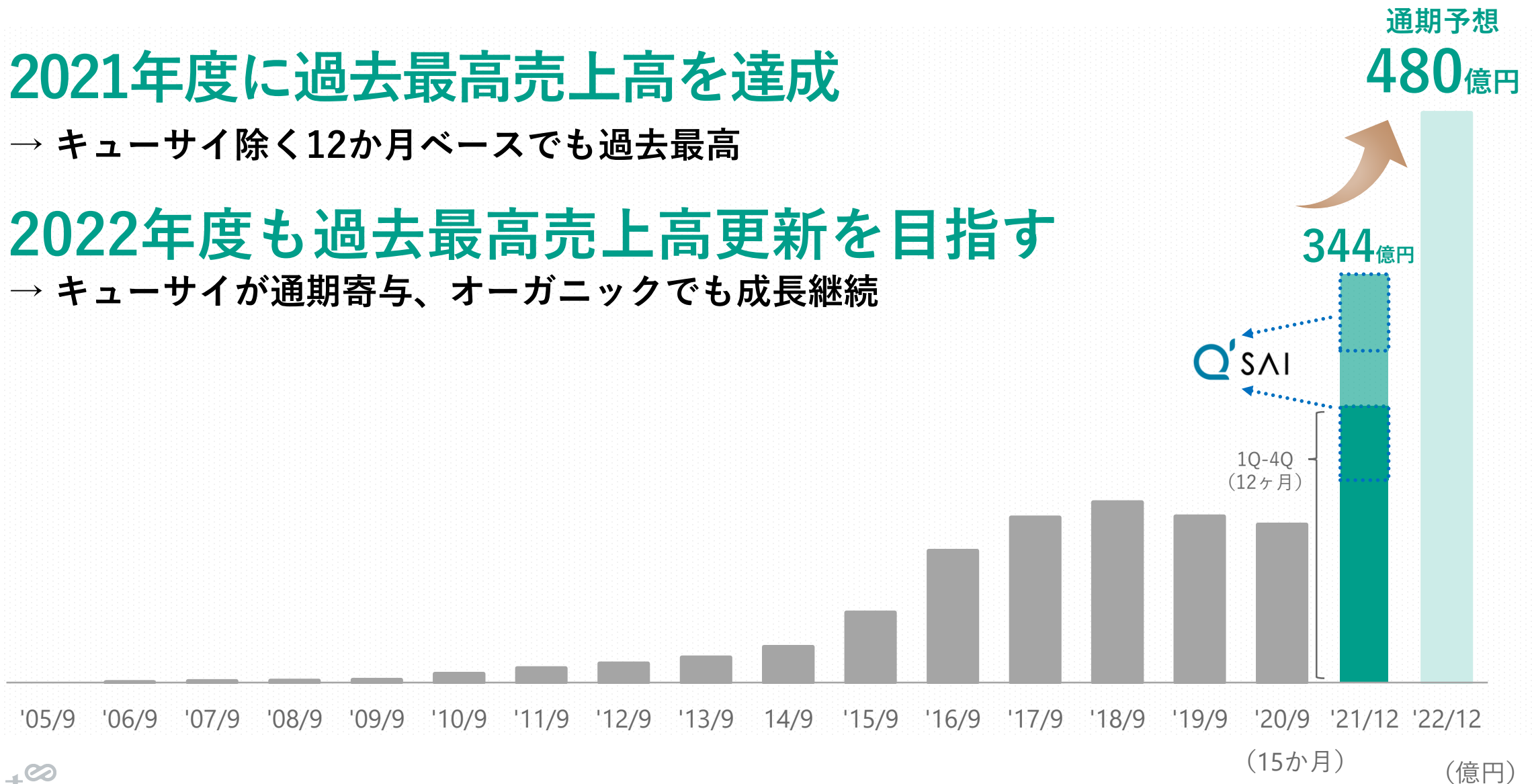
業績推移 – 売上高

2021年度に過去最高売上高を達成

→ キューサイ除く12か月ベースでも過去最高

2022年度も過去最高売上高更新を目指す

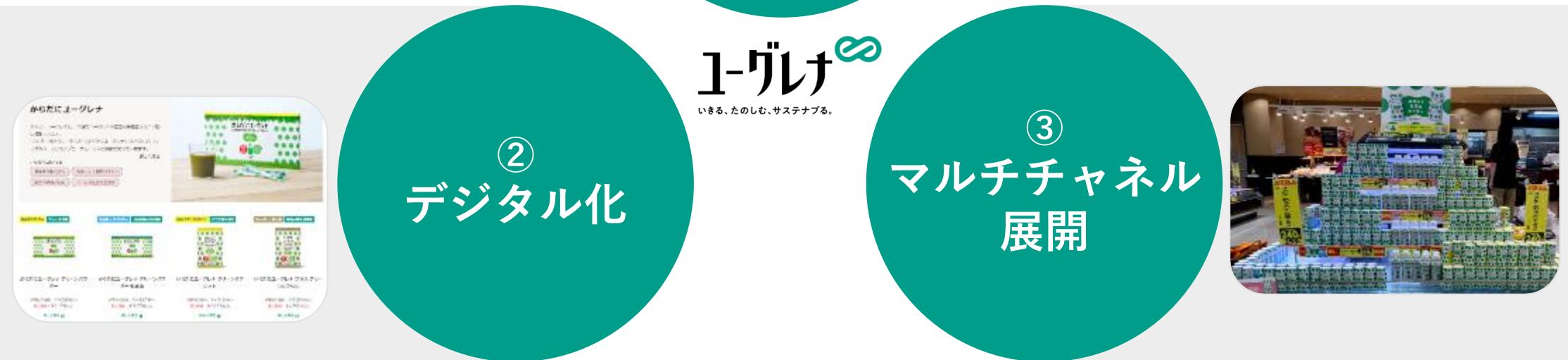
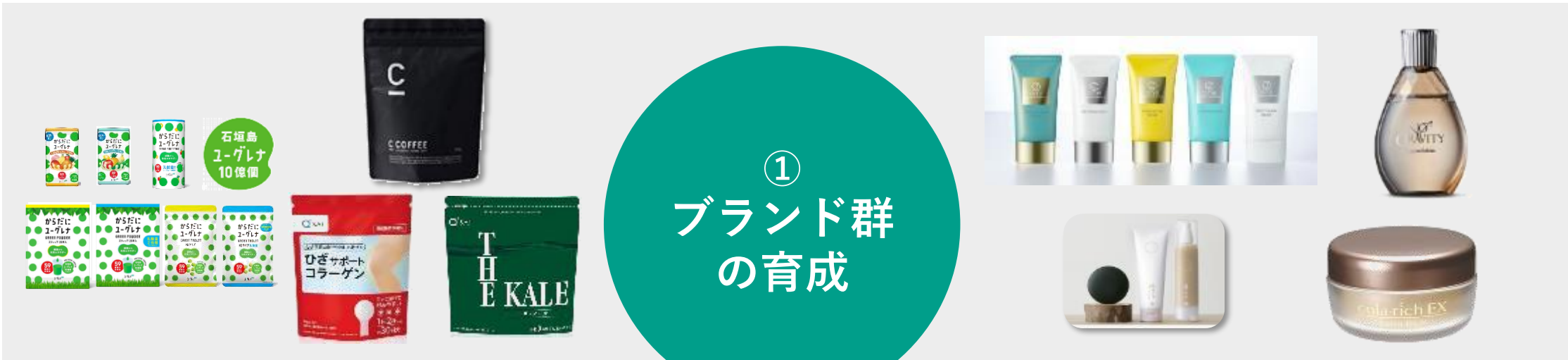
→ キューサイが通期寄与、オーガニックでも成長継続



ヘルスケア領域

成長戦略 - 3つの柱

ヘルスケア領域



成長戦略 - 1.ブランド群の拡大と強化

新ブランドのローンチと既存ブランドのSKU拡充で、成長投資の選択肢を拡大

ヘルスケア領域

食品

先進的市場創出



機能性
コーヒー



ラインアップ追加

illuminate



フェムテック事業

グループ参画

化粧品

細胞培養エキス美容液

1-グレ



新ブランド
ローンチ

サステナビリティ



石垣島
1-グレ
10億個



ラインアップ追加

1-グレ

1-グレ

COSMOS認証
オーガニック化粧品



LIGUNA



ウェルエイジング



Q'SAI



épauler

新ブランド
ローンチ



Q'SAI

1-グレ

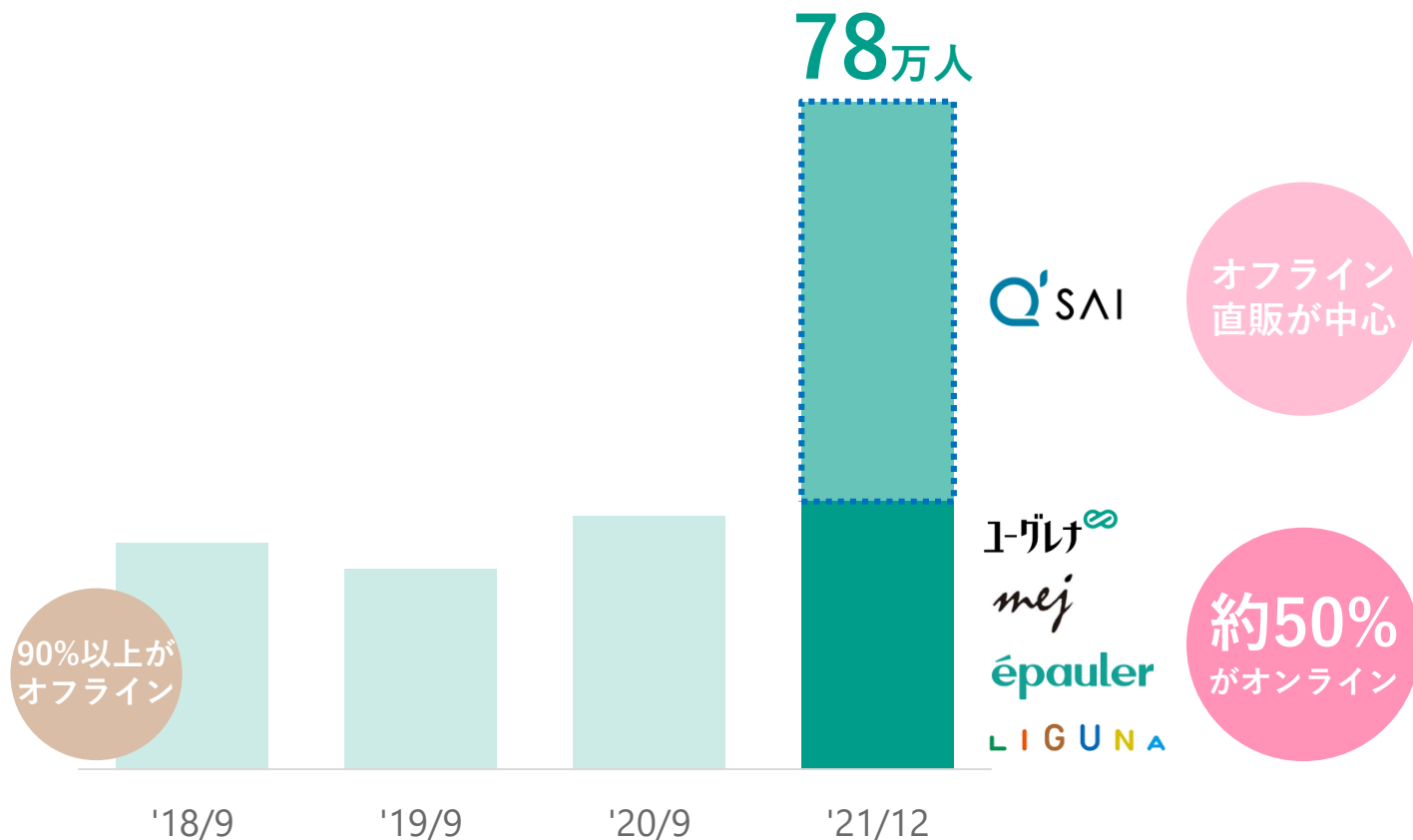
成長戦略 - 2. デジタル化

過去3年間のデジタル化推進で、
オンライン直販比率*1は
約50%まで拡大、売上成長を牽引

今後は下記方針により、
売上基盤の強化を推進

- キューサイはオンライン直販比率拡大により潜在顧客を開拓
- ユーグレナ・グループ*1は約半々のオン/オフライン構成を活かして、機動的に投資配分をコントロール
- デジタル/データ活用によるCRM強化でLTVを向上

直販定期購入者数推移



成長戦略 - 3.マルチチャネル展開

自社商品

グループ会社商品

グループ共通で多様な流通チャネルへ展開

量販店



バラエティ



ドラッグストア

専門店

美容サロン

越境EC

マーケットプレイス等の
新チャネル開拓にも挑戦

ソーシャルグッドな商品のマーケットプレイス

GoodGood
Mart



ESG・新規サステナビリティ領域

ソーシャルビジネス - バングラデシュにおける取組みと外部からの評価

2014年より創業きっかけの地

バングラデシュで活動を継続



2回目となる国連WFP
との事業連携を締結、
約1.5億円の活動資金
を受領予定



第5回ジャパンSDGsアワード（2021年）で

内閣総理大臣賞を受賞



サステナビリティに関する取り組み

サステナビリティHPの拡充とTCFD*1への対応を実施、3代目CFOの募集を開始

サステナビリティHPの拡充



ユーグレナ・フィロソフィー
「Sustainability First」に込めた
当社の考え方や、事業を通じた
サステナブルな取組の開示を拡充

TCFD*1への対応



ヘルスケア事業の気候変動に関連する主要なリスク・機会

リスク

気候関連の事象と発生度	想定されるリスクと影響度
カーボンフットプリントの導入	<ul style="list-style-type: none"> CO2排出量削減に向けた設備投資コストの増加 重油・ガス・電気など原材料コストの増加
プラスチックの規制強化	<ul style="list-style-type: none"> 物流・配送コストの増加
情報開示の規制強化	<ul style="list-style-type: none"> 開示要件・規制強化による負担の増大
省エネルギー政策の強化	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー効率改善に向けた設備投資コストの発生・増加
生物多様性に関する規制強化	<ul style="list-style-type: none"> 排出・排水規制強化に伴う設備投資コストの増加
異常気象の激甚化	<ul style="list-style-type: none"> 生産・製造工場や卸工場製造委託先等の設備損傷・稼働停止による売上高減少・労務費増加 物流経路の配送停止による売上減少
海面上昇	<ul style="list-style-type: none"> 生産・製造工場の設備設備等の被害額の増加

TCFD フレームワークに基づき、
気候変動が事業に及ぼすリスク・
機会の影響を評価

3代目CFOの募集



2代目CFO 川崎レナ(16)



当社とともに未来を創っていく CFO
(Chief Future Officer：最高未来責任者)
および CFO と共に活動するフューチャー
サミットメンバーを募集開始

2022年12月期第1四半期決算

業績 - 売上高

2022年度1Q売上高

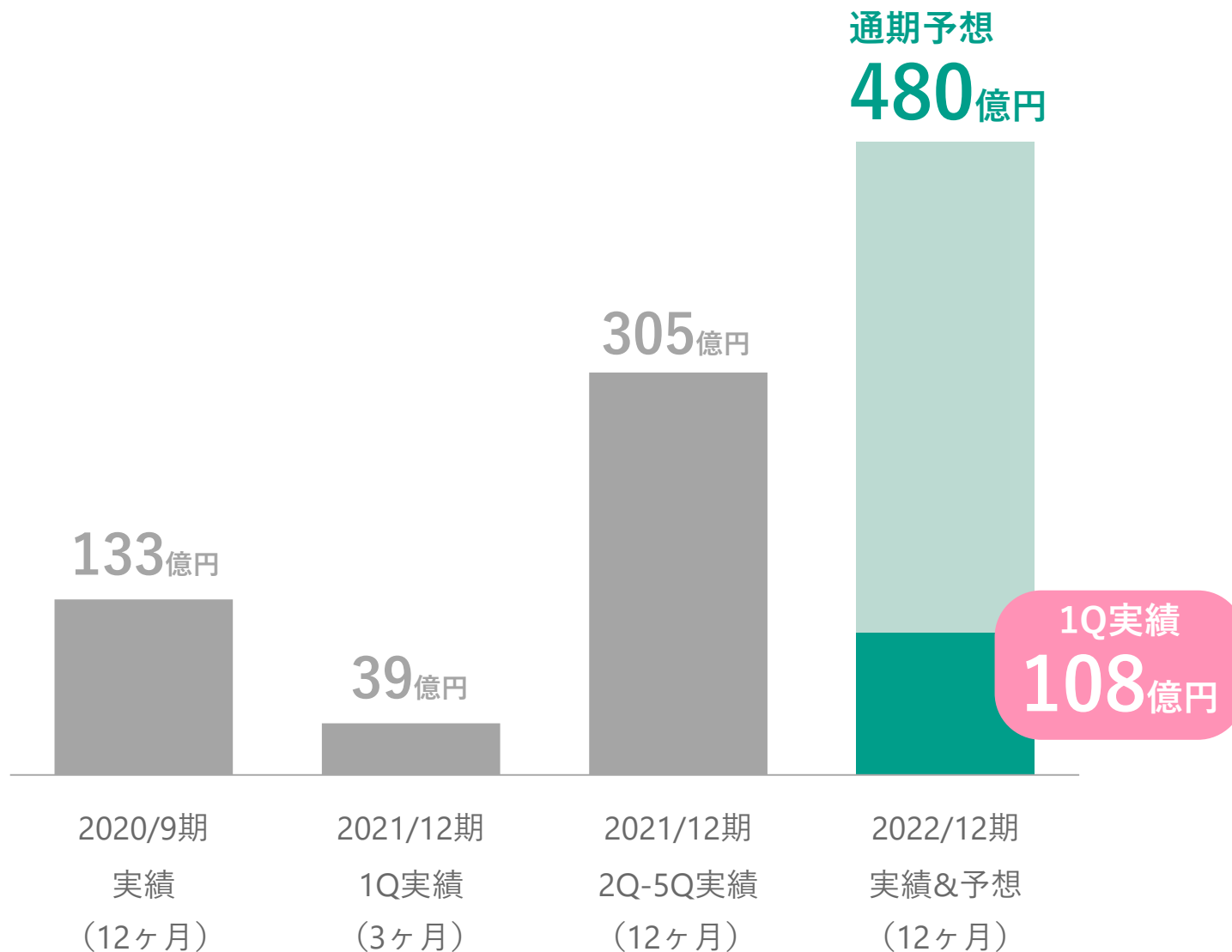
108億円

前年度1Q比

2.8倍

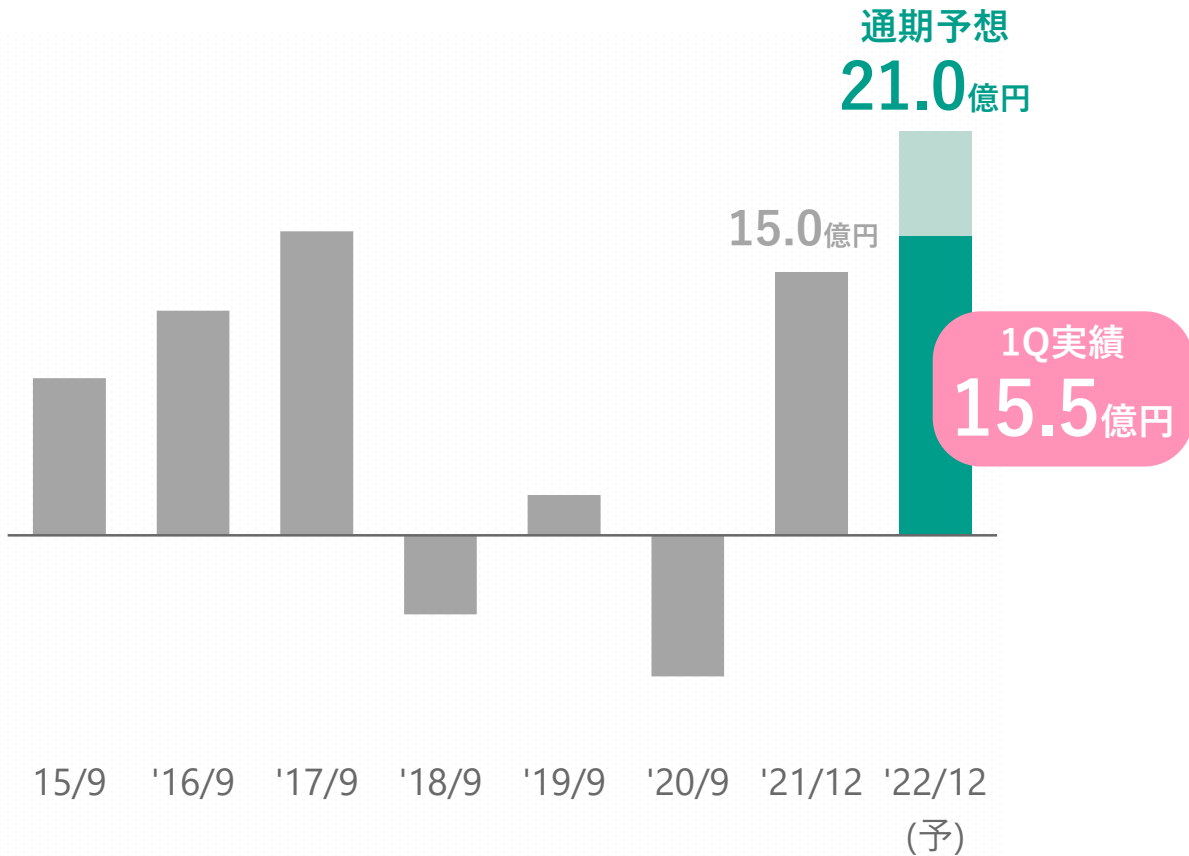
想定より若干ビハインドするも、
概ね計画範囲内の進捗

2Q以降の広告投資拡大で、
通期業績予想の達成を目指す



業績 - 調整後EBITDAと経常利益

調整後EBITDA推移

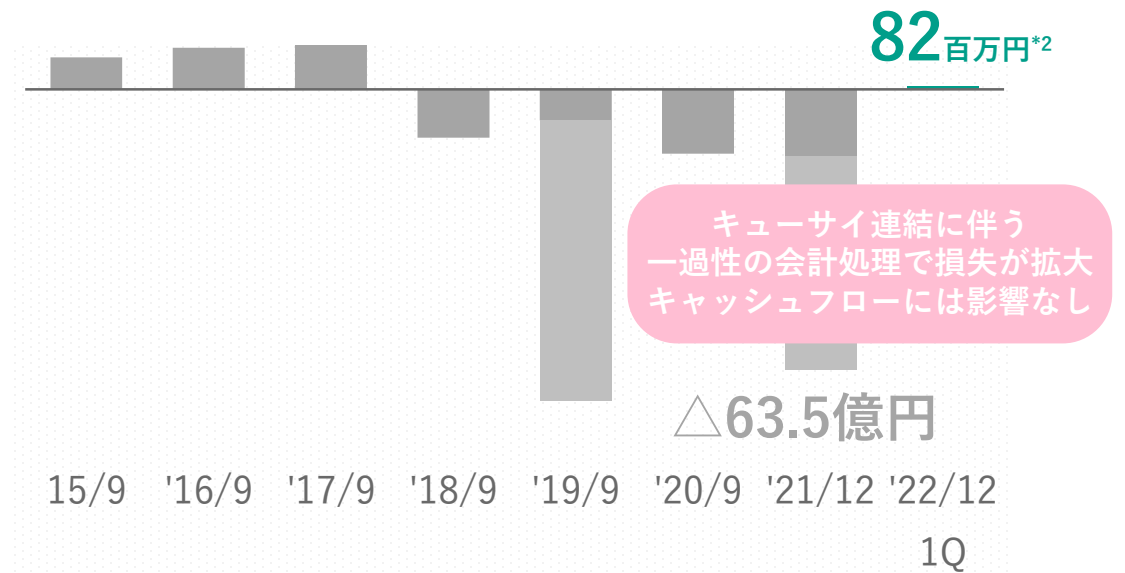


当社キャッシュフロー創出力指標である

調整後EBITDAが拡大

キューサイ連結に伴う一過性の会計処理により、
経常損益は前期に大幅な赤字となったが、今期1Qは黒字化

経常損益推移



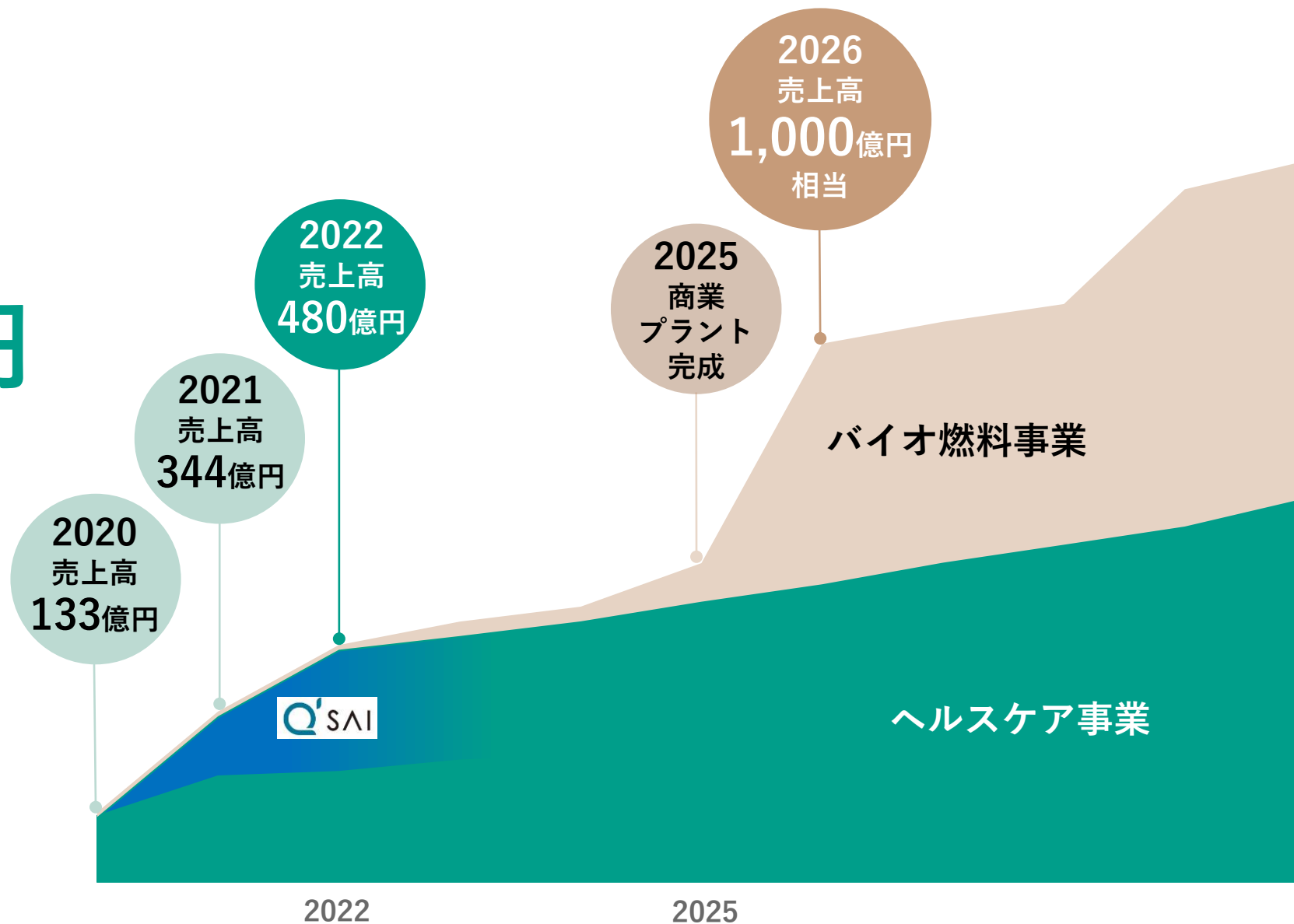
*1: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費)+助成金収入+株式関連報酬+棚卸資産ステップアップ影響額
*2: キューサイ連結に伴う一過性の会計処理による損失影響(△783百万円)を除いた実質経常利益は864百万円

中長期的な成長イメージ

2026年以降、
売上高

1,000億円

相当を目指す



Thank you

【留意点】

当社は、2021年8月26日開催の臨時株主総会における承認決議により、決算期（事業年度の末日）を9月末から12月末に変更致しました。

その結果、2021年12月期（第17期）は経過期間として2020年10月から2021年12月までの15ヶ月間の決算期となります。